

2008春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

3 0

2 0 0 8 年 3 月 3 日

日本鉄道労働組合連合会

JR西労組 春闘交渉開催状況」

JR西労組は、2月5日に第1回団体交渉(要求書提出)をスタート。現在まで5回の交渉を開催し、要求実現に向けて粘り強い交渉を展開している。

第2回では、**「要求根拠となる趣旨説明」**を行う! (2/13)

組合は、『厳しい経営環境におかれていることは理解しているが、信頼回復に向けて努力している組合員と、それを支える家族に対して、働くことへの自信と誇りの回復に向けてベア実現を強く求める。』と主張した。

会社は、『会社の状況は決して楽観視できない。現時点でのタイミングにおいて可能な判断を行っていきたい。組合の要求は真摯に受け止め、円満な解決ができるよう交渉を進めていきたいと考える。』との見解を延べた。

なお、詳細については別紙を参照されたい。(JR西労組業務速報 63)

第3回では、**「総合生活改善関係」**について交渉! (2/20)

組合は、『制度改正から6年が経過する中、今日までの諸情勢の変化もある。懸命に努力している組合員・家族の想いに立った誠意ある回答をめる。』と強く主張した。

会社は、『今日までの交渉においても誠意を持って対応している。今次春闘交渉においてもお互いキッチリと議論をしたいと考える』との姿勢を示した。

なお、詳細については別紙を参照されたい。(JR西労組業務速報 67・72)

第4回では、**「賃金引上げ 年間臨給」**について交渉!! (2/25)

組合は、『「安心・信頼のブランド構築」を図っていく際、根幹を創りあげているのは現場で汗して働く組合員であり、それを支える家族である。誠意ある回答を求める。』と強く主張した。

会社は、『働きがいをもどのような形で表していくか、そのことも含めて、今回の交渉においても誠意を持って議論していきたいと考える』との姿勢を示した。

なお、詳細については別紙を参照されたい。(JR西労組業務速報 75)

第5回では、**「賃金引上げ(契約社員等) 年間臨給」**について交渉!! (2/27)

『会社は、社員の頑張りに対して感謝していると言っているが、言葉だけでなく目に見える形で表すべきである。成果は全社員で出したものであり、誠意ある回答を強く求める。』と主張した。

なお、詳細については別紙を参照されたい。(JR西労組業務速報 76)